

# 施設管理

# IoT

## 最新動向

CO2測定器をはじめIoTを駆使した施設管理システムが台頭する。感染対策はビルの付加価値にもつながり、シェアオフィスやビルの共用部等を中心に導入が進む。その中で、独自路線のセンサー連動製品を発表した企業がある。

### バルーンショップとコラボ 見た目も映えるIoTシステム

アプリ開発や体温チェックシステム「Smart Thermo CKI」を手掛けるトラッド(東京都大田区)は、各種IoTセンサー機能とアプリ「SeMクラウドサーバー」を連動させたシステムの提供を開始した。また設置型のセンサー連動システム「SMART BALLOON」+ RICH BALLOONの土台にCO2濃度センサーと温湿度センサーを内蔵専用アプリ「RICH BALLOON」の土台にCO2濃度センサーと温湿度センサーとあわせて湿度・気温

## 「SMART+RICH BALLOON」実証実験開始 IoTセンサー・サーバーの連動が施設管理に寄与

CH BALLOON(代表 小山里沙氏)が提供するギフト向けインテリア。造花をバルーンで覆ったかわいらしい見た目の特徴で、お祝いなどの贈呈品としても人

気の商品だ。「SeMクラウドサーバー」は、スマートフォンのアプリでCO2濃度を測定するだけで味気ない。華やかで見たいから楽しめる測定器を作ろうと考え、バル

ンアートを手掛けるRICH BALLOON様に私からお声かけをさせて頂き、実現に至りました」と話す。

一方サーバー上では1分ごとの数値の増減をグラフで分析・保存ができ、過去にさかの

場所のPCやタブレットでもリアルタイムのCO2濃度と温度・湿度を継続的に把握することも特徴。アプリの測定器を導入する場合はCO2濃度、湿度、温度が数値され画面に表示される。CO2濃度が「高い」とされる1500ppmの数値を超えると背景画面が赤色に、CO2濃度が低く換気状況が良好の場合には緑色に変色。オンでも確認や通知すること遠隔地にいな

「SMART+RICH BALLOON」は実証実験を通して、プラットフォームアップする

「SMART+RICH BALLOON」は実証実験を通して、プラットフォームアップする

「SMART+RICH BALLOON」は実証実験を通して、プラットフォームアップする

「SMART+RICH BALLOON」は実証実験を通して、プラットフォームアップする

### 感染症対策・空調メンテナンスに

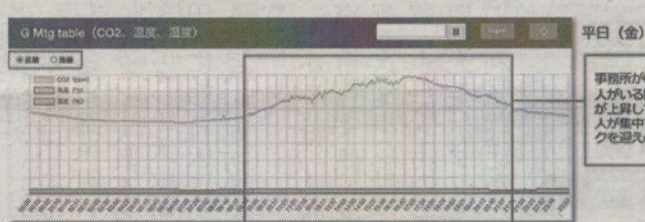


トラッド 代表取締役  
和利氏 恩地

や農業ハウス、ホテルや店舗などの商業施設などを見込んでおります。実際に工場へ導入

私たちはIoTと連動したアプリ開発り、そこでは気圧センサーを用いることだが、今回はIoTで粉塵の室内混入をソリューションで監視することができ、SeMクラウドサーバーとの連動システム開発に至りました。導入先としては、オフィスの他に工場

縦軸にCO2濃度、横軸は時間。



事務所がOPENしてから人がいる間は、CO2濃度が上昇しています。人が集中する昼時にピークを越えのぐわります。

ニーズからホテルの事業者様にお問い合わせをいただいている状況です。1台のサーバーで少なくともデバイス数百個以上は管理することができ、複数センサーに設置したセンサーの反応状況も一括で管理できます。ビルやオフィスを複数棟管理しているオーナー様・管理会社様にとっては、遠隔地から施設を管理ができるため、コスト削減や業務効率化を図ることも可能です。(恩地氏)。他社にはない独自性と質の両面で勝負する同社。今後は、SMART+RICH BALLOONをはじめ各種センサーとサーバー連携のサービス提供に注力していきたい。



「RICH BALLOON」は、横浜関内バルーンショップ「SMART+RICH BALLOON」の土台にセンサーが内蔵



アプリでCO2濃度や湿度など、センサーの検出した数値が確認できる。